

12月は、クリスマスのイルミネーションがキラキラと心を躍らせる季節となり、寒さも厳しく体が縮こまる日もありますが、そんな寒さもおかまいなしに元気いっぱいのこども達です。今月もまた、自分達で“お茶を点てる”経験をしました。

2回目ということで、自信をもってお茶を点て、おいしそうに残さず飲んでいましたよ。

今回は、ぞうぐみさん全員そろっての初釜お茶会となります。また、自分でデザインし、色づけをした世界でたったひとつの“MYお茶碗”を使ってのおけいこです。楽しみですね！

12月のお菓子



- ・ゆきわ
- ・クリスマス
(数種類あり)

12月のお花



- ・小菊
- ・もみじ



お座布団のうしろを歩いてお席入りです
(お客さん)



「おけいこ始めます」



まずは帛紗をつけて準備します
(お運びさん)



先生の手ほどきを受けながら…



おともだちのために
いっしょけんめいです



こんなに上手にできました！



お菓子の取り方も真剣です



点ててくれたおともだちに感謝して、ゴク・ゴク・ゴク



飲み終わったお茶碗はこんなにキレイ！

お茶碗について

茶道の道具のなかでも大切なお茶を飲むための器です。

楽焼らくやきや萩焼はぎやき、唐津焼からつやき、京焼きょうやきなど各地の焼き物があります。ぞうぐみさんが造っているのは奈良の赤膚焼あかはだやきです。

焼き物には陶器と磁器があり、造り方が違ってきます。日常生活で食器として使われているものは磁器が多く、お抹茶茶碗としては陶器がよく使われます。温かな肌触りがします。

陶器は、低い温度でゆっくり焼かれていて壊れやすく、磁器は高い温度で焼き締められ硬く出来上がっています。ぞうぐみさんのお茶碗は陶器で扱いに気をつけないと口が欠けたり、割れてしまったりしやすいです。大切なものを丁寧に扱う大事さを学習するよい機会でもありますね。